

ユンカー次期欧州委員会委員長、欧州委員会の機構改正案を提示

2014年9月15日  
JETRO デュッセルドルフ事務所

ジャン＝クロード・ユンカー次期欧州委員会委員長は、9月10日、次期欧州委員会（2014～2019年）の各委員の職務配分案とともに、欧州委員会の機構改正案を公表した。

今回公表されたのは、今年11月1日に始動する次期欧州委員会（2014～2019年）の各委員に配分される所管業務案と、これに伴う欧州委員会の機構改正案。知的財産関連では、域内市場・サービス総局（DG MARKT）の知的財産局（ケルスティン・ヨルナ局長）は、現在、著作権部（D1ユニット）、産業財産権部（D2ユニット）及び模倣品・海賊版対策部（D3ユニット）から構成されているが、このうち、著作権部及び模倣品・海賊版対策部の著作権関連業務が、通信ネットワーク・コンテンツ・技術総局（DG CONNECT）に移管され、ギンター・エッティンガー委員（ドイツ）が担当する。また、域内市場・サービス総局は、企業・産業総局（DG ENTR）と統合され、エルジビエタ・ビェンコフスカ委員（ポーランド）が担当する。

今後は、欧州委員会の28名の委員候補全員に対する欧州議会の承認プロセスに移り、欧州議会は承認の前に各委員候補に対して公聴会を行う予定である。

— 欧州委員会のプレスリリースは、以下参照 —

[The Junker Commission: A strong and experienced team standing for change](#)

— 各委員の職務配分案は、以下参照 —

[Allocation of portfolios and supporting services \(PDF\)](#)

— 現行の域内市場・サービス総局の組織図は、以下参照 —

[DG Internal Market and Services \(PDF\)](#)

(以上)